

作業環境中の粉じん測定とばく露対策

作業環境研究グループ 研究員 山田丸

有害な粉じんを吸い込むことにより、じん肺症、中毒症、がんなどの重篤な健康障害が引き起こされる。労働者の健康を守るためには、労働者への粉じんばく露をなくす、あるいは健康上問題ないと判断される濃度まで低減させることが基本的な手段である。そのためには、作業場の粉じん濃度あるいは労働者個人に対する粉じんばく露濃度を正確に測定し、また測定結果を正しく理解する必要がある。本講演では、作業環境中の粉じんの測定方法とばく露防止に関して、粉じん粒子の大きさに着目して、基礎的な内容から最近実施した調査・研究に関して報告する。

- 粉じんとは
- 粉じんの粒径・濃度測定法
- ばく露防止対策（主に、呼吸用保護具に関して）
- 研究所での粉じん研究（ナノマテリアル、除染作業時の内部被ばく）